



もりの手紙

森にいこうよ!
もりメイト俱楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美
広島市中区白島中町12-4
tel. 090-6419-7531
fax. 082-221-1080
e-mail. info@morimate-ch.com
url. http://www.morimate-ch.com

5
May

NO 298 / 2022

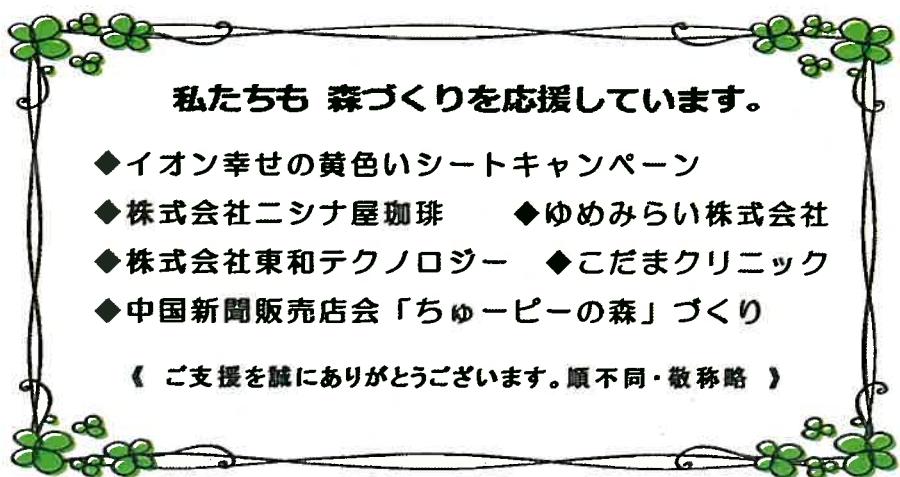


contents

★5月例会案内	
『5月22日 第4日曜』	
「ゆとりの森景観整備」	2
★4月例会報告：北田	
「黄金山桜救出大作戦」	3
★4月部会報告	
・クラフト部会：佐藤	
・里山部会：岩田	4
★4月環研部会：佐々木	
3月例会フォローアップ：秋武	5
★シリーズクラブ創立25年によせて	
里山部会の成り立ち	6
★森づくりポイント制度	
・TV放映のお知らせ(再)	
今月のひと枝：ウスギヨウラク	7
★5月・各部の活動予定	
・年会費納入のお願い(再)	8



黄金山の山桜。来年も遅く美しく咲きますように。雨が上がり笑顔もまぶしい～。(P3にて報告)



私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆イオン幸せの黄色いシートキャンペーン
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり

《ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略》

もりメイト俱楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
森の恵みを伝える：恵みを活用し、拡げる活動。

例 会

俱楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト俱楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会长賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



2022年5月地域貢献プロジェクト例会（担当5班）

「ゆとりの森」眺望改善整備他

山あいのまぶしい新緑の中で、気持ちのいい汗を一緒にながしませんか

◆日 時：5月22日（日曜）9時30分～

※当日のリーダー、5班のメンバーは準備のため8時30分現場集合



◆会 場：【ゆとりの森】北広島町南方 3733

※ナビで「ゆとりの森南方」を検索。または、『可部バイパス』を通りセブンイレブン広島上根バイパス店に9時に待ち合わせ。



◆持 参 物：山の道具・弁当・飲み物・名札

◆申込み：5月16日（月）までに各班長へ連絡。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は
下記へ電話かメールにてご連絡下さい。

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

ゆとりの森は、「ゆとりの森里山整備事業」として北広島町が認可した沖野さん所有の森です。オーナーの沖野さんが何十年もかけて里山林を整備し、みんなが自然を体験し集える森を創って来られました。

俱乐部との出会いは、2016年6月の中国新聞「オピニオン」に掲載された山本理事長の記事をご覧になった沖野さんから「活動の場に使って下さい」と連絡を頂き、以後、整備を含め研修の場として活用させて頂いております。

昨年は大雨による災害に遭われ、被害も大きく復旧が今も続いているおられます。この度の例会では、より景観を取り戻し素敵な森のために力を注いでいきたいと思います。ご参加を！！



昨年8月は、豪雨災害で、景観整備例会の予定が災害支援となりました。今年は素敵なゆとりの森をさらなる憩いの場に。（写真は昨年の様子）

6月は総会です。昨年と一昨年は新型コロナの感染防止により、表決を委任する（委任状）方法で行いました。今年度はすでに会場を確保し準備を整えております。6月号「もりの手紙」にて詳細をお伝えいたします。なお、次号で総会出欠の葉書を活動会員に同封します。返信よろしくお願ひいたします。



4月例会

「黄金山桜救出大作戦三度」^{みたび} 24日(日曜)

総勢 28名(地元 1名、一般 1名含む)

2班 北田 正仁

三度目の正直で“やれて良かった”小雨の中 作業開始。雨にも負けず山桜救出。

雨のち曇りの予報を受けつつ「三度目の正直」で現地に集合。しかし、作業場は斜面で足下が悪く危険を伴うので、安全に行う事を確認。十分に気をつけて作業に臨もうと、小雨のなか例会を決行しました。

8 時には 2 班の担当者、各グループのリーダーが集合し道具を準備。グループのリーダー5 名は、作業現場へ行き、それぞれの担当エリアと作業内容を確認し、集合場所の楠那公民館へ戻りました。

9 時過ぎ開会。見勢井顧問の挨拶の後、当日のスケジュール、作業説明、安全上の注意事項を再確認。ラジオ体操で体をほぐし、グループに分かれ作業現場へ向かいました。

楠那公民館から、登山道を登り現地到着。恒例のグループ毎のミーティングを行い、いざ作業開始。

A グループは、立ち枯れた桜の伐倒と処理を行いました。ロープチルホール、滑車を使用し、内部に空洞があったため、狙いの方向と多少のズ

レは生じたものの、安全に伐倒する事ができました。

B、C、D の各グループは、黄金山中腹にある桜の倒木処理と山桜へ至るまでの作業道作り。特に C、D の 2 グループは足場が悪く、刈り払い機を使わず手ノコでの作業となりました。どのグループも、作業場までたどり着くのに道なき道の藪漕ぎ状態で、道を切り拓きながら前進しました。

E グループは、作業場所入り口手前の篠竹(シノダケ)林の伐採。篠竹は高さが3mほどで、細く群がって生え、伐採後は見晴らしを取り戻しました。

小雨も 11 時には上がり、昼食はグループ毎でとりました。午後は、少し早めの 12 時 45 分からスタートし、引き続き作業を行い 14 時に終了。その後、楠那公民館へ下山し、使用した道具の手入れと軽トラへの積み込みを済ませ、終了のミーティングを行い、15 時過ぎ解散しました。例会初参加の恵木さんから『雨だったのにカッパを忘れてしまい ずぶ濡れに

なりながらの活動でしたが、良かった！また参加したいです』。同じく初参加の沖本沙耶さんは『皆さん優しく教えてくださり非常に有意義な時間を過ごせたと感じております。本当にありがとうございました。また参加させていただければと思っております。』と、嬉しい感想をいただきました。

ヒヤリハットはありませんでしたが、篠竹を伐る際に、切り口が鋭利になり危険を伴うナタやカマを使った人がおり、安全なノコを使用するという作業指示の徹底が必要であることを確認しました。

最後に、楠那公民館内のトイレを使用させていただいた際、雨と泥で汚れた靴が、階段や廊下を汚してしまい大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。職員の方が新聞紙を敷かれ対応して下さいました。誠に誠にありがとうございました。



①山桜枯損木の処理。②ロープチルホールの取り扱いを説明。③篠竹を伐って見晴らしを取り戻す。④終了のミーティング。右端は北田班長
⑤立ち枯れた桜を伐倒

報告

4月 クラフト部会

部会長 佐藤 謙治

★4月部会は鹿ヶ谷基地の里山のコバノミツバツツジ・山桜などの花の香りが漂う鹿ヶ谷公園の中、クラフト部材の製作と間伐材の製材を行いました。又、俱楽部軽トラックの冬用タイヤを通常タイヤに交換（毎年クラフト部会メンバーで行っています。）昨年の9月より腰痛のため部会欠席されていた松岡さんが約6ヶ月ぶりに参加されました。自然の中で創作加工などの活動をする楽しさを味わいたく参加されたとのこと。これも「もりメイト俱楽部」の活動の一部ではないかと思う次第です。今後も楽しく集い活動出来たらいいなと感じた4月でした。5月も部員の好みによる創意工夫したクラフトの考案と部員のスキルUPを図る取り組みをしていく考えです。木工趣味・興味のある部員の皆さん一度覗いてみてください。



上:人気作品の一つチョウチョ。
下左から:木工製作に励む松岡さん
佐渡さん、竹原さん・原畠さん。



報告

里山部会 4月10日(日) 部会長 岩田 幸信

4月の里山部会は、2箇所に分かれてスタートしました。すでにご存じの方もいるかと思いますが、小川フィールドでは、毎年2回4月・8月に地域貢献で、防火水槽周りの草刈り及び水路清掃をしています。

当日は7時50分集合と早い時間ではありましたが、地元の方を含め6名が参加。それぞれ草刈りと水路清掃に分かれ作業を開始しました。すっかり恒例となっている作業に、やる気満々で集合時間を間違えて来てしまい、待ちきれずに草刈りを始めている俱楽部員もありましたが、ともあれ無事終了しました。その後、小川フィールドでの作業班は、秋山にある妙國寺裏のスクウスクウの

森に移動しました。

一方、定期の里山部会はスクウスクウの森に9時集合。里山副会長の富安さんをリーダーに、枯木の除去・薪の移設作業等、精力的に活動をこなしておりました。

また、この日は山本理事長・見勢井顧問も参加。休憩時間には、1昨年「スクウスクウの森活委員会」のメンバーと共に完成させた四阿において、昔話に花が咲きました。2時からは、妙國寺ご住職 斯波さん、屋根職人を交えて、当日予定していた妙國寺本堂の屋根一部修復工事の見学会を行いました。専門家ならではの解説で大変勉強になりました。参加人数18名



間伐材の防腐処理



アカマツ材の椅子の防腐処理



四阿(あずまや)にて。昔話に花が咲きました。

それからの 尾長天満宮「大径木NO.1伐倒」

5班 秋武 明



直径 50 cm のコナラ。樹上(←)は筆者

3月27日(日)の例会時に実施出来なかった「大径木NO.1」の伐倒を、4月9日(土)に山本理事長、見勢井顧問、佐藤さん、富田さん、小迫さん、途中応援参加の坂田さん、そして秋武の7名で実施しました。道路を挟んだ民家の屋根まで枝先が及んでおり、「念には念を」と7日(木)に現地で作業工程の打ち合わせを行った上で伐倒です。

午前中は倒す側の雑木伐採、太さが20 cm になった枝2本の処理、チルホールと2本の補助ロープを準備して終了。昼休憩の後は、1本梯子(3本継)を頼りに秋武が樹上で、準備していたロープとワイヤーを取り付け、作業後、メインロープを山本理事長と秋武、補助ロープを小迫さん、もう一方の補助ロープを坂田さん、富田さん(伐倒補助兼務)がそれぞれ受け持ち安全を確保。安全監視は見勢井顧問、伐倒担当は佐藤さん、という体制でいよいよ伐倒に臨みました。

牽引の作業をコマメに修正を加えながら進め、午後3時頃に大音響とともに安全に伐倒する事が出来ました。しかし、作業はこれで終了したわけではなく、あまりにも太く長い枝分かれした木の枝処理に時間が掛かった事は言うまでもありません。この他道路へ枝の張り出した直徑 20 cm ほどのコナラを1本伐採して作業を無事終了しました。

最後に、この度の大径木伐倒作業から感じた事は、作業を進めるには入念な現地調査(打ち合せ)、十分な機材準備、安全監視をする事が重要であるという事です。いつ迄木登りができるかわかりませんが、楽しみながら参加したいと思います。これからも安全第一で宜しくお願ひしま～す！



より確実により安全に。3方向からのロープ掛け

《山本所感》このたびの活動は軽快且つ、安全に木上で高い作業スキルを持つ秋武さんには重労働を担っていただき、ほか各々もすべきことを考え、よく動き、研修目的で参加された坂田さんも意欲的！メンバー全員が安全を第一に少しでも気づきがあれば即中断して遠慮なく意見を活発に出し合い、納得した上で施業決行。新旧が学び合う信頼関係の中で技術向上作業は最高でした！



4月 環境教育研究部会 部会長 佐々木 綾子

11日(月) 袋町交流プラザ環研打合せ & 16日(土)松ヶ原フィールド整備

環研の打ち合わせ主題は、体験型環境教育「もりメイトキッズ」。今年で16年目を迎えます。コロナ禍で2年ほど翻弄され、開催も危ぶまれてきましたが、それらを踏まえ今年度のキッズの内容を検討いたしました。

テーマは『発見！探検！楽しいけん』。松ヶ原のフィールドで、参加するキッズと一緒に植物観察や森林整備を行う中、新たな発見を求めながら、SDGsを追求しつつ楽しめるプログラムになればと思っています。



手すり、壁材取付の様子



女性も戦力！ツリーハウスの塗装作業

また、以前より製作している大竹市松ヶ原のキッズフィールドのツリーハウスのデッキと階段の手すりの設置、ハウスの壁材取り付け、塗装を行いました。

松ヶ原の森の中は一面ピンクのコバノミツバツツジが咲き誇り、すがすがしい新緑とともに美しい風景を奏でておりました。天気も良く過ごしやすい快適な気候の中、作業は順調に進んでいきました。来月も引き続きツリーハウスの塗装作業を行う予定です。

《2022年度もりメイトキッズ》

★ テーマ：発見！探検！楽しいけん！★

～未知なる自然に出会う

松ヶ原もりメイトキッズ～

開催日： 6月19日(日曜日)

8月21日(日曜日)

10月16日(日曜日)

募集要項、詳細は会報にて随時ご案内いたします。

～俱楽部創立 25 年によせて～

<その③：里山部会の成り立ち>

俱楽部創立 20 周年記念誌より

【部会発足の経緯：2000 年スタート！】

《1期（創生期）》白木で地域活性のシンポジウムが開催され、パネリストとして見勢井顧問（当時 理事長）が登壇。「子どもの自然体験の場を探している」という発言をしたところ、翌日、所有者の小川氏から連絡があり、放置林を使用することを提案いただきました。

さっそく笹刈り、道づくりから始まり、竹炭造り・椎茸栽培をメインで行いながら、駐車スペースの整備・炭焼き窯の設置・炭焼き小屋・作業小屋・バイオトイレ・ピザ窯の設置・椎茸圃場の鹿猿等の獣対策ネット張り等、フィールドの環境整備を進めることができました。 



フィールド入り口付近。当時はうっそうと笹が繁り、3度に渡る刈り払いが必要でした。（H14.9.3）

【竹炭、シイタケ栽培等活動を継続、地元の活動にも参加】



ドラム缶炭焼き窯設置、空焚きを行って不具合が無いか確認中。（15.1.12）

《2期》竹炭造り・椎茸栽培を継続しながら、テラス小屋（雨天時の避難所）を作り、作業環境的には整いました。その後、落ち葉からの堆肥作りや例会活動で各地から持ち帰った材の有効利用として薪作りにも取り組みました。又作業環境を維持する為に、各小屋の補修修理（立て替えよりも手間が掛かる）を行っています。

H26年12月～H27年1月には、地元岡地区の獣害対策として5回にわたり地元の要請により共同で、里山の境界線沿いに猪・鹿対策フェンスを設置し、さらに、H27年よりフィールドで取水させて頂いている白木山からの灌漑用水路の整備にも、年2回地元の方のお手伝いとして参加をしています。（現在も継続）

これらの活動により、里山部会（もりメイト俱楽部 Hiroshima）に対する地元の方の理解が深まり、フィールド周りの私有林の手入れを依頼されるようになりました。



炭焼き小屋の上棟式を終え、パチリ（15.2.16）



【これからの里山部会】

「私たちに出来る事から」と言う合言葉で、もりメイト俱楽部 Hiroshima の初の部会として平成 12 年に正式に立ち上げた里山部会。これまで雑木林や竹林の整備をはじめ炭焼き・椎茸栽培など、里山の恩恵を活かす文化を伝承してきました。これからは他の活動場も視野に入れながら、これまでのスキルを生かして多くの市民に対し、あらゆる自然体験活動を積極的に事業化していき、社会貢献度を上げるとともに自立した部会を目指して行きます。

今一度、初心に戻り俱楽部員が「いま私に何ができるか」を考え、一步先ゆくボランティア団体を目指して、地域の人々と俱楽部員とが「楽しく愉快に過ごせ、何でも話せ信頼関係を築ける」里山部会にし、また、地域活性化のお手伝いをさせて頂きたいと思います。

《歴代里山部会長 初代：松村允雄。2代：北田正仁。3代：岩田幸信》



2基の炭焼き窯の間にピザ窯を作りました。
溶鉄炉の中古耐火レンガを頂きモルタルで作
る本格的ピザ窯の完成！（16.5.9）



『森づくりポイント製品』交換についてのお知らせ



もりメイト倶楽部 Hiroshima では、例会や部会などの活動に参加した際、「森づくりポイントカード」に印を押しています。メンバーの方々の中には、それぞれたまたまポイントと交換し、ベンチや鍋敷き、プランターカバーなど、ご家庭で利用されている方も多いと思います。この度、交換の制度が下記の通り一部変更になります。

【商品の交換に当たって】～受け取り上限があります～

- 1) ベンチ(30 ポイント、60 ポイント)交換の上限は、1 年で 1 人 3 脚までとなります。
- 2) ベンチの受け取りは原則本人となります。車を持っておられない場合は家族等代理の方が受け取れます。



【商品交換の再開時期と受け取りについて】～受け取りの際は連絡を～

商品の交換は、令和 4 年 4 月 1 日より再開しています。但し、広島市森林公園は休園日(毎週水曜・年末年始等)があるため、事前に電話連絡し、確認してからの受け取りをお願いします。

① : 受け取り希望日時日 ② : 交換品(品名「〇〇〇〇」、〇脚など。③ : 受け取り者〇〇 〇〇。及び連絡先

※商品交換時は森林公園入園のための駐車料金(普通車 : 450 円)が要ります。

※この制度は、森づくりに親しむ目的であり、他者への譲渡や転売目的での商品の交換ではない事を覚え置きください。

詳しくは、HP「広島市の森づくり情報」の《ひろしま森づくりコミュニティネット》で。また、「森づくりポイント」でも検索できます。「お知らせ」のコーナーでは、もりメイト倶楽部 Hiroshima の会報「もりの手紙」が毎月紹介されています。森に関する色々な楽しい情報も盛り沢山でとても役立ちます。一度覗いて見て下さい。

太田川流域の間伐材を利用した人気のベンチは30ポイントで交換できます。

～テレビ放送のお知らせ～

先月号でもお知らせしましたが、昨年 11 月、北広島町で開催された【中国電力 70 周年記念森林森林イベント】が下記の Youtube にて 2022 年 6 月末まで閲覧可能です。

まだの方はこの機会にぜひご覧ください

■「地域応援プロジェクト年度末 SP」

Youtube URL(限定公開)

<https://www.youtube.com/watch?v=wwDr9NKL4tQ>

※尚、森林イベントパート(紹介)は、番組中あ 24 分 46 秒～33 分 30 秒 の間です。

今月のひと枝

原田 澄



ウスギヨウラク (薄黄瓔珞)

<ツツジ科・ヨウラクツツジ属>

山地の林縁や林内、岩場に自生する樹高 1~2 m の落葉低木。葉は互生し枝先に集まって付く。中部地方～中国地方、四国に分布。葉は長さ 3~6 cm の橢円形で最大幅は中央。葉裏はやや白色を帯び葉裏と縁に毛が散生する。花は 4~6 月。枝先に 1.2~1.8 cm の薄黄色の釣鐘型の花が 1~8 個集まって付き、花の先は浅く 5 裂する。花冠はわずかに紅紫色を帯び花柄や萼の縁には線毛がある。和名の由来は、形が仏像の飾りなどに使う「瓔珞」に似ており薄い黄色を帯びていることから。別名ツリガネツツジ。・・・▼思いがけず出合ったウスギヨウラク。楚々として何と可愛らしい素敵な花と、心が躍った。▼今、命漲る季節の到来。山々の樹々は葉を広げ花を咲かせ、新芽の様々な色、やわらかな若葉はまさに春ならではの光景。日々変わるもののは見飽きることがない。▼葉が開くと虫が来る。虫が来ると鳥が来る。賑わう自然界。命の輝きはほんのつかの間、出かけよう、野や山へ。

～2022 年 4 月湯来町～



—5月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

小川フィールドにて環境整備を行います。連休最終日、シャキッと身体を動かしてみませんか?

■日時: 5月8日(第2日曜)

■場所: 「小川フィールド」

■持参品: 水筒・山の道具

■連絡先: 岩田 080-5751-3798

里山部会

年会費納入のお願い

再

4月から新年度に入っています。
会を運営していく中で、皆さんの会費が大きな支えとなっています。
個人年会費は3,000円、振込先は下記の通りです。どうかよろしくお願ひ致します。

~自家木工・クラフト趣味の方、自由に参加お待ちします~

■5月は7日・14日・21日・28日の土曜日

■連絡先: 佐藤 090-1682-6305

satoken069@yahoo.co.jp

クラフト部会

【大竹市松が原フィールド整備】

■5月28日(土) 10時~
主にツリーハウスの塗装

■6月18日(土) 9時~
キッズ前日の整備(草刈り、備品準備他)

【袋町プラザ打合せ】

■5月30日(月) 18時30分
第1回キッズ打合せ

■連絡先: 佐々木

mamakin0404@yahoo.co.jp

環研部会

~もりの手紙~

原稿、ご意見、感想募集しています。

是非、こちらのアドレスへ。

tegami@morimate-ch.com



6月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。

■日時: 5月25日(水) 16:00~20:00

■場所: 袋町市民交流プラザ3F

総会へ向け資料配布等の準備のため、6月の会報は1週間早く発送します。ご協力よろしくお願いいたします。



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。

私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

【正会員】: 倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。

【賛助会員】: 倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】: 3,000円

【企業会費】: 50,000円

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】info@morimate-ch.com

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383

【ゆうちょ銀行】15170-18029291

《口座名: 特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》